

見附市指定管理者管理運営状況評価結果

令和8年7月8日に管理業務の評価を行った結果は、次のとおりでした。

施設名	見附市大平森林公園		
指定管理者	株式会社笹原建設	所管課	建設課
評価対象年度	令和7年度		
【所管課の総合評価】			
合計得点	76.8	評価ランク	B
所管課の講評			
今期間も利用者のニーズに合わせたイベントや安全性を高めるための修繕等を計画・実行してきたが、土日の天候不順や猛暑、堤の水位低下、クマ出没によるイベント中止や閉園を余儀なくされ、来園者数や売り上げが落ち込む結果となった。また、2年目の開催を予定していた冬のトレッキングも大雪の影響で中止を余儀なくされた。クマ出没後には、安全面を不安視する声や風評被害と捉えられる声もあり、自然環境の影響を大いに受けた期間となった。しかし、来園者数が落ち込む中でも園内の安全整備に注力し、来園者が安全で快適に利用できる環境提供に努めていた姿勢は評価できる。 今後も自然環境の影響を受けることが考えられるため、イベント時期や内容、安全対策の発信方法などを検討し、安全で楽しい魅力ある公園の提供を継続していただきたい。			
【評価委員会の総合評価】			
合計得点	71.6	評価ランク	B
評価委員会の講評			
クマ出没による閉園とその後の来園を敬遠する風潮はかなり深刻な問題であり、結果として来園者数は前年度の72.8%、売上は前年度の66.4%であった。安全・安心を最優先させて施設を運営している指定管理者にとっては、善処しなければならない課題であり、指定管理者ができることは既に取り組んでいる。市役所の関連部署や関係団体からも協力を仰いで、事態が改善することを期待している。 指定管理者は当該施設の長所を自身で認識して、それを引き上げる努力も継続的に行っている。施設運営については問題ないと言える。しかしながら、クマ問題や猛暑、大雪等のマイナスの外的要因に対処することが求められるので、引き続き創意工夫を凝らしながら堅実運営に努められることを期待する。 指定管理者は他者にはない機動力を有しており、これを活かして安全管理やサービス向上、新規イベントの創出に努めていることがうかがえる。市内にも市外にも多くの支持者がいるようなので、そのような来園者を増やしつつ、新しいイベント等により、新規の来園者も獲得して来園者数の増加に繋げられれば、収支決算も良い結果が得られるものと考えられる。			

【総合評価】

- A：総合評価の結果、特に優れていると認められる。（合計得点が80点以上）
- B：総合評価の結果、優れていると認められる。（合計得点が70点以上80点未満）
- C：総合評価の結果、概ね適正であると認められる。（合計得点が60点以上70点未満）
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる。（合計得点が30点以上60点未満）
- E：総合評価の結果、かなり努力が必要であると認められる。（合計得点が30点未満）